

伝統医療薬学コース実習・演習

On-site Training of Traditional Medicine and Pharmacy

コース科目 5年／前・後期 10単位 選択必修科目

科目責任者 岡田 嘉仁(天然薬物学教室)

■ 教育目的

漢方医学をはじめとして幅広い伝統医療を学び、それらが現代医療の中でどのように貢献しているか理解する。あわせて統合医療とは何かを学ぶ。それらに関して基本的知識、技能、態度を実地に習得する。

■ 学習到達目標

1. 世界の伝統医学・伝承薬物を学び、特に漢方医学が現在の医療の中でどのように貢献しているか理解する。
2. 漢方医学の基本的な理論を理解し説明できる。
3. 日常診療でよく用いられる薬剤師として知っておきたい漢方処方の特徴と効果的な服用のあり方を理解する。
4. 漢方方剤の一つ一つについて、その構成、意味、適応を説明できる。
5. 生活習慣病の予防には食生活と食材が大切である。医・薬食同源を理解する。
6. 「漢方薬・生薬認定薬剤師」の必要性を理解する。
7. 鍼灸施設での見学実習を通して、現代医療の中でどのように使われているか理解する。
8. 生薬、漢方薬の品質に関連した試験法を理解する。
9. アロマセラピーが現代医療の中でどのように貢献しているか理解する。
10. 多様な店舗業務もあわせて理解する。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：事前教育や集合研修などで基礎知識を確かなものとする。

復習：実習を通して知識、技能などを習得していき確かなものとする。

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	事前学習	世界の伝統医療、生薬・伝承薬物、漢方医学の基礎理論	C7 (2) -1-2 C7 (3) -1-1~1-7
2	実習、見学実習	12週 of 漢方専門薬局での実習、2週 of 漢方専門企業の試験室での実習、2週 of 鍼灸施設での見学実習、その他アロマセラピー、薬草園・資料館（本学、東京都）での実習および見学実習	C7 (1) -1-1~1-3 C7 (1) -2-1~2-5 C7 (3) -1-1~1-7 C7 (3) -2-1~2-2
3	事後学習	報告書作成、調査研究の報告・発表会	

■ 授業分担者

岡田 嘉仁（責任者）、馬場 正樹（副責任者）、浦辺 宏明、片山 昌勅、月村 考宏

■ 成績評価方法

客員講師の評価（50%）、実習報告書・出席状況・報告会など（50%）の総合評価

■ 教科書

研修施設毎に適宜指示する。

■ その他

ただ単に実習をこなすのではなく、知識、技能を積極的に習得する姿勢が重要です。